

平成30年度 帯広市教育研究所

冬季教員研修講座 まとめ

平成31年1月21日

学校指導担当部長

帯広市教育研究所長

村松 正仁

平成30年度冬季教員研修講座を12月27日(木)～1月11日(金)の計5日間にわたり、開催しました。

市内小中学校等より、参加延べ人数は、**362名**となり、例年よりもさらに大変多くの皆様にご参加頂きました。

講師の方々には、お忙しい中、準備から当日の講座まで、親切丁寧に進めていただきました。

「貴重な経験となった。」「今後の指導に生かしていきたい。」という感想が多く寄せられたことから、有意義な研修となったのではないかと考えます。

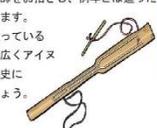
参加された方が学校へ戻り、研修の成果を広めていくことを期待しています。



冬の研修、しませんか!?

1日参加でも、半日参加でもOKです。ご自身の興味に応じて、好きな講座を好きなだけ。全ては子どもたちの成長のために・・・



体育実技の日!	教育課題の日①!	教育課題の日②!	授業力向上の日!	追加 特別講座!
<p>12月27日(木) 午前 スピードスケート 実技講座</p> <p>帯広市立若葉小学校 教諭 飯島 恵美子 氏 帯広市立森の里小学校 教諭 中村 和代 氏</p> <p>スピードスケートの指導に関するポイントやアイデア、注意事項などについて実技を通して学びます。 スピードスケートの経験がない方はもちろん、さらに指導方法に磨きをかけたい方は、是非参加してください!</p> 	<p>12月28日(金) 午前 がん教育講座</p> <p>がん患者・家族の支援会 enn 代表世話人 古城 剛 氏 帯広市第一病院 がん看護相談支援室がん看護 専門看護師 小里 裕美 氏</p> <p>がん教育の推進に向けて、がんの正しい知識や理解を図ることを目的に、医療関係者、がん経験者を講師に招き、研修を行います。</p> 	<p>1月9日(水) 午前 不登校セミナー</p> <p>帯広市教育委員会 スクールソーシャルワーカー 高谷みゆき 氏</p> <p>不登校の解決に向けて、今年度は、不登校を中心とした学校における生徒指導事例について「インシデントプロセス法」を取り入れた事例検討を行い、研修を深めていきます。</p> 	<p>1月10日(木) 午前 学級経営・授業改善 ワンポイント講座</p> <p>若手の先生方!授業力アップしませんか??様々な種類のブースがあるので、ご自身の興味に合わせて、授業力・教師力をアップできます!体力向上にかかわるブースもあります!!</p> <p>NEW</p> 	<p>1月11日(金) 午前 小学校外国語 英語力アップ講座</p> <p>札幌市立元町北小学校 英語専門教師 木下 啓子 氏</p> <p>「自身の英語力向上」「児童用冊子 We can! や Let's Try!の実践例」「読む・書くの指導」を柱に、研修します。 日々の外国語活動・外国語科の授業に即、役立つ研修です。</p> 
<p>午後 タグラグビー 実技講座</p> <p>北海道ラグビーフットボール協会十勝支部 普及育成委員会 タグラグビー担当 五十嵐 真左紀 氏 他</p> <p>新学習指導要領解説にて例示された「タグラグビー」はタックルやスクラムなどの接触プレーがなく、安全で、誰でも楽しめるスポーツとして注目されています。 タグラグビーというスポーツの魅力や、指導方法等について、実技を中心に研修します。</p> 	<p>午後 ゼロから始める プログラミング教育</p> <p>帯広市教育研究所 指導主事 多治見 忠</p> <p>プログラミング教育では、「何を」「どこまで」「どんな風に」学ぶものなのか、分かりやすく解説します。 夏に行った同講座に、若干の追加情報を加えて、研修を行います。</p> 	<p>午後 消費者教育講座 「ゲーム障害」という名の 精神疾患</p> <p>一般社団法人 北海道消費者協会 教育啓発グループ 道高 真理 氏</p> <p>WHO が「ゲーム障害」と位置付けた、スマホの長時間利用により、オンラインゲームなどに没頭する依存状態が、健康や学習効果にどう影響があるのかを講話を通して研修します。</p> 	<p>午後 アイヌ民族の文化と 歴史講座</p> <p>(公社)北海道アイヌ協会副理事長 阿部 一司 氏 札幌市立もみじの丘小学校 渡部 操 教諭</p> <p>毎年行っている「アイヌ民族の文化と歴史講座」ですが、今年度は、札幌のアイヌ民族文化財団より講師をお招きし、例年とは違ったかたちで開催します。 全道各地を巡っている講師の方から、広くアイヌ民族の文化と歴史について学びましょう。</p> 	<p>講座の詳細については、別紙一覽表をご確認下さい。 お問い合わせは、教育研究所 担当 多治見 (TEL23-4949) までお願いします。</p> 

体育実技の日!

12月27日(木)

午前 スピードスケート 実技講座

帯広市立若葉小学校
教諭 飯島 恵美子 氏
帯広市立森の里小学校
教諭 中村 和代 氏

スピードスケートの指導に関するポイントやアイデア、注意事項などについて実技を通して学びます。

スピードスケートの経験がない方はもちろん、さらに指導方法に磨きをかけたい方は、是非参加してください!



午前は、「スピードスケート実技講座」でした。例年より多い37名のご参加を頂き、手狭な会場となったことをお詫びします。「毎年受けたい」というアンケートもあったほど、充実した研修となりました。

午後は、「タグラグビー実技講座」で、タグラグビーを小学生に指導するにはどのようにすれば効果的かという視点から、動画視聴を含めてお話を頂き、実技を交えて楽しく研修を深めることができました。



スケートを熟知している先生に教わるのができた貴重な時間でした。滑っているところを見てくれて、良いか、良くないかを言って下さるだけで励みになりました。コーナーのやり方や、パシュートなどの話題の競技ができたところもよかったです。お忙しい中ありがとうございました。(若葉小学校 實吉 奈津美 教諭)

午後 タグラグビー 実技講座

北海道ラグビーフットボール協会十勝支部
普及育成委員会 タグラグビー担当
五十嵐 真佐紀 氏 他

新学習指導要領解説にて例示された「タグラグビー」はタックルやスクラムなどの接触プレーがなく、安全で、誰でも楽しめるスポーツとして注目されています。

タグラグビーというスポーツの魅力や、指導方法等について、実技を中心に研修します。



自身の授業で行って「なかなか高度だな…」と感じていた部分が、講座を受け「どのように段階を踏んで練習させたらよいか」ということがわかり、指導の引き出しが増えました。動画や紙面ではわからないことが、自分自身の体を動かすことで、すごくよく理解できました。(稲田小学校 高野 まどか 教諭)

教育課題の日①!

12月28日(金)

午前 がん教育講座

がん患者・家族の支援会 enn
代表世話人 古城 剛 氏
帯広市第一病院
がん看護相談支援室がん看護
専門看護師 小里 裕美 氏

がん教育の推進に向けて、がんの正しい知識や理解を図ることを目的に、医療関係者、がん経験者を講師に招き、研修を行います。



午前は、「がん教育講座」を行いました。がん専門看護師と、支援会の代表（実際にがんを患っておられる方）のお二人からの講話は、参加者の心に染み入るものとなり、会場で涙する方もいました。がん教育の必要性について実感を伴い学ぶことができました。

午後は「ゼロから始めるプログラミング教育講座」でした。講義と演習を交互に繰り返す形での研修でした。参加者は「考え、試行することの楽しさ」を学び、プログラミング教育の基礎について確認しました。



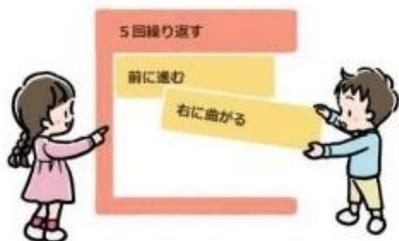
講演全体が決してネガティブな内容ではなく、とても現実的で考えさせられる内容だった。これからのがん教育を進めていく参考にしていこうと思ったと共に、教職員や家族、本人の健康維持に活かしていきたい。その他、生活習慣病やメンタルヘルス等についても学んでいきたいと感じた。(帯広第四中学校 齊藤 雅哉 主幹教諭)

午後 ゼロから始める プログラミング教育

帯広市教育研究所
指導主事 多治見 忠

プログラミング教育では、「何を」「どこまで」「どんな風に」学ぶものなのか、分かりやすく解説します。

夏に行った同講座に、若干の追加情報を加えて、研修を行います。



プログラミング教育について全く知らない状態からの参加でしたが、とても興味深い内容で、「研修後もいろいろ調べてみよう。」と思えるような内容でした。知識を学ぶ講話の部分と、オムレットやプログラミンを使った実技体験学習のどちらも、とてもよかったです。(北栄小学校 野久 拓磨 教諭)

教育課題の日②!

1月9日(水)

午前 不登校セミナー

帯広市教育委員会
スクールソーシャルワーカー
高谷みゆき 氏

不登校の解決に向けて、今年度は、不登校を中心とした学校における生徒指導事例について“インシデントプロセス法”を取り入れた事例検討を行い、研修を深めていきます。



午前は「不登校セミナー」で、インシデントプロセスの手法を用い、実際のケースを基にして参加者同士での討議を深めました。講師の人柄や話し方に刺激を受けた参加者も多かったようです。

午後は「消費者教育講座」で、スマホゲーム等の功罪を科学的根拠を元に学びました。講師への質問では「実際にどう指導するか?」という問いに対し、明確な答えが返ってきて、得るものの多い講座となりました。



「誠実・慰労・肯定的」など、保護者や子供たちに対応するときの具体的な姿勢を教えていただき、とても良かったです。また「色々な言葉をポケットに入れる」「両親（保護者）の辛さをしっかり分かってあげる」という言葉が心に残りました。誠実であるということ、今後のテーマにしていきたいと思いました。（啓北小学校 小林 学美 養護教諭）

午後 消費者教育講座

「ゲーム障害」という名の精神疾患

一般社団法人 北海道消費者協会
教育啓発グループ 道高 真理 氏

WHO が「ゲーム障害」と位置付けた、スマホの長時間利用により、オンラインゲームなどに没頭する依存状態が、健康や学習効果にどう影響があるのかを講話を通して研修します。



一般社団法人
帯広消費者協会



子どもたちがなぜスマホゲームなどに夢中になってしまうのかということや、その危険性について、表やデータを基に説明していて、とても分かりやすかったです。また、脳や眼への影響についても、科学的根拠のある資料を基に説明して頂き、大変勉強になりました。（明和小学校 中村 望 教諭）

授業力向上の日！

1月10日(木)

午前 学級経営・授業改善 ワンポイント講座

若手の先生方！授業力アップしませんか？様々な種類のブースがあるので、ご自身の興味に合わせて、授業力・教師力をアップできます！体力向上にかかわるブースもあります！！



午前は、「ワンポイント講座」でした。参加者が「学びたい」と思う講座を選び、その道のプロフェッショナルに学ぶことができる、大変貴重な機会です。今年度も好評のうちに終わることができました。

午後は「アイヌ民族の文化と歴史講座」で、札幌のアイヌ民族文化財団から5名もの講師派遣を頂き開催することができました。内容が盛りだくさんで、時間が足りないほどでした。



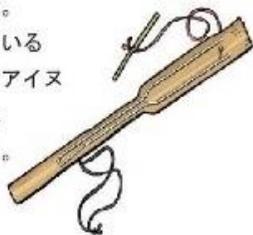
多くの講座から、自分が受講したい分野を選択して受講できるスタイルは、その時の自分の必要感に応じて選ぶことができるので、そのような講座の設定が嬉しいです。夏にも冬にも講座があるので、多くの先生のお話を聞ける安心感があるのも良いです。また是非参加したいです。（明星小学校 渡部 実里 教諭）

午後 アイヌ民族の文化と 歴史講座

(公社)北海道アイヌ協会副理事長
阿部 一司 氏
札幌市立もみじの丘小学校
渡部 操 教諭

毎年行っている「アイヌ民族の文化と歴史講座」ですが、今年度は、札幌のアイヌ民族文化財団より講師をお招きし、例年とは違ったかたちで開催します。

全道各地を巡っている講師の方から、広くアイヌ民族の文化と歴史について学びましょう。



アイヌの歴史や文化について深く学ぶことができました。また、アイヌについての授業実践についても非常に参考になりました。実技体験ではムックリが鳴って嬉しかったです。今後はトンコリの演奏会や、歌、踊りも学ぶ機会があれば挑戦してみたいです。（柏小学校 竹内 乃扶子 教諭）

追加 特別講座!

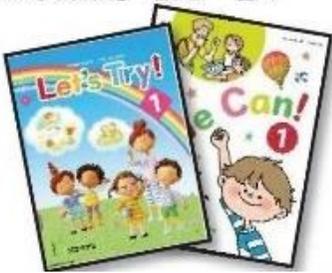
1月11日(金)

午前 小学校外国語 英語力アップ講座

札幌市立元町北小学校
英語専門教師 木下 啓子 氏

「自身の英語力向上」「児童用冊子 We can! や Let's Try!の実践例」「読む・書くの指導」を柱に、
研修します。

日々の外国語
活動・外国語科の
授業に即、役立つ
研修です。

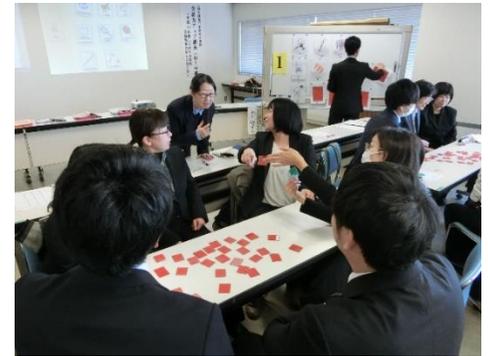


講師からお話があった通り、研修会で使用した配付用の教材データを研究所で預かりしています。USB メモリなどの記録媒体をお持ちの上、この機会に教育研究所まで是非いらしてください。

また、電話で連絡を頂ければ、学校宛てにラック送付することも可能です。



追加特別開催した「小学校外国語 英語力アップ講座」です。札幌で文科省委託の英語専門講師をしている木下 啓子先生をお招きし、開催することができました。大変エネルギッシュな先生で、「英語は難しく考えず、まずは自分が楽しく行えば良いと分かった」との感想が多くありました。移行期における注意点等の理論はもちろん、実技の時間もふんだんにあり、満足度の高い研修となりました。



指導書の見方、教材の作り方など、大変勉強になりました。リズムや動画などを交えた授業展開で、今後の学習の幅が広がりそうです。教職員同士での交流が大切だと再確認できましたので、これからは教材のシェアを困っていきたいと思います。
(西小学校 大澤 未怜 教諭)

平成32年度からの小中学校の英語教育が、何が、どのように変わるかをシンプルに、分かりやすく教えて頂くことができました。小学校の先生方がご苦労されながら、言語材料をふんだんに使い、授業をされている様子が伝わりました。中学校の英語は、それらを生かして、高校入試や求められるやりとりのできる生徒をたくさん育てる必要があることを再確認したのと、その工夫をしていく一助となる2時間でした。
(緑園中学校 水谷 由美 教諭)